

平成30年11月16日

琴浦町議会議長 小 椋 正 和 様

琴浦町議会議員 高 塚 勝

## 一 般 質 問 通 告 に つ い て

次の事項について質問します。

質問項目	質問内容（要旨）	答弁者
1. 同和対策について	「琴浦町同和対策に係る固定資産税の減免措置要綱」は、対象地域の住民に対して、行政が自ら差別的な表現を用いて、地域を指定していると考えます。早急に改めるべきでは。又、減免措置は見直すべきでは。	町 長
2. 防災について	台風24号の対応として避難所が開設されたが、大雨による冠水のため、受け入れを中止した。この経験を、今後の避難所の設置にどの様に対応するのか。	町 長

平成30年11月19日

琴浦町議会議長 小 椋 正 和 様

琴浦町議会議員 桑 本 賢 治

## 一 般 質 問 通 告 に つ い て

次の事項について質問します。

質問項目	質問内容（要旨）	答弁者
1. 台風24号の被害状況とその後の対応について	①台風24号の11月末現在の状況を伺う。  ②浸水被害の発生した田越・笠見の対応、避難場所として使用できなかった、東伯総合体育館及び下郷公民館の対応を伺う。  ③農地への土砂の侵入、畔の崩壊、農業用水路の土砂撤去について伺う。	町 長
2. 野生鳥獣の被害について	野生鳥獣被害について最近の実情を伺う。 特にイノシシ被害は年々拡大傾向にあると思うがその対応策を伺う。	町 長
3. 下水道の使用料金について	下水道料金に何割を補充しているか伺う。 一般家庭の公共下水道・農業集落排水処理施設の使用料は基本料金2,160円、人数割り1人当たり540円だが、高齢者に負担が重いという声があるが、どう考えられるか。	町 長

平成30年11月20日

琴浦町議会議長 小 椋 正 和 様

琴浦町議会議員 新 藤 登 子

## 一 般 質 問 通 告 に つ い て

次の事項について質問します。

質問項目	質問内容（要旨）	答弁者
1. 児童・生徒の悩みを相談できる状況づくりについて	<p>内閣府は厚生労働省の「人口動態調査」の情報を基に自死した18歳以下の子どもを日付別に分析されました。</p> <p>新学期開始の前後に増える傾向がみられるようです。</p> <p>若年層の自殺率の減少幅が鈍い事を受けて厚生労働省の調査結果は、10代前半は他の年齢層に比べて何の前ぶれもなく自殺する傾向があると分析しています。</p> <p>学校が始まると急増する実態を教育現場は重く受け止めてほしいと思っています。</p> <p>「子どもが周囲に悩みを打ち明けやすい環境をつくるのが重要」だと思います。</p> <p>①児童・生徒の悩みを相談できる状況づくりをしておられると思いますが、どのように言葉や行動で示されているのかお伺いします。</p>	教育長

質問項目	質問内容（要旨）	答弁者
<p>2. 防災学習の取組みについて</p>	<p>東日本震災から7年が過ぎ、2年前の平成28年4月震度7クラス以上の熊本地震、そして同じく10月鳥取中部地震、今年岡山県倉敷市、広島の土砂災害が続きました。教訓を生かした備えが各地で進んでいるところです。</p> <p>今後30年以内に南海トラフ地震が起こると、海岸で16メートルの津波が襲うそうです。</p> <p>日頃から地域での訓練に参加し、定期的に家族で安全対策について話し合うことも大事です。家族で防災力を高めるためにもわが家の防災マップと防災マニュアルを作る事も勧めています。</p> <p>親と離れても子どもが自分で判断をし、行動できるようにするのが目標です。</p> <p>子どもの頃から防災学習は大事だと思います。</p> <p>教育現場では、校内放送をしてまでは無理だという考えはあるかもしれませんが、是非、学校全体で取り組んでいただきたいと思います。</p>	<p>町 長 教育長</p>

平成30年11月21日

琴浦町議会議長 小 椋 正 和 様

琴浦町議会議員 澤 田 豊 秋

## 一 般 質 問 通 告 に つ い て

次の事項について質問します。

質問項目	質問内容（要旨）	答弁者
1. 地域力の向上に向けた体制の整備充実について	<p>第2次総合計画が昨年策定され、少子高齢化と人口減少を本町の喫緊の課題とし、地方創生に重点を置き、平成27年10月に策定し、平成30年3月に改訂された『琴浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略』と連動して様々な事業が展開されています。</p> <p>地域づくりは最終的には住民すべてが幸福で楽しく充実した人生を歩めることを目標に、私たちの住んでいる地域の自然、伝統、文化などを再発見し、地域に生きる「誇り」を持つことが大切であると思います。</p> <p>また、子どもころから地域で生活していくすばらしさを教えたり、高齢者が感謝され、尊敬される地域。親の背中を見て育つ環境、地域社会が持つ優れたものが、いずれふるさとに戻って楽しく暮らすことにつながっていくものと思います。</p> <p>本町では、そうした地域づくりに各地区公民館が大きな役割を果たしていますが、今日的な様々な課題を考えたとき、例えば地域振興協議会と公民館との連携など、さらなる体制の整備充実が必要ではないかと思えます。</p> <p>そこで、次の点について、町長、教育長に伺います。</p> <p>①現在の中山間地における集落支援員を全地区に配置し、人口減少、少子高齢化が進む中、持続可能で安心・安全な地域の暮らしを守り、地域の活力を図るためにも各地域の体制を整備すべきではないか。</p>	町 長 教育長

質問項目	質問内容（要旨）	答弁者
	<p>②地域と学校がしっかり連携し、子どもたちを地域で守り育てる体制のさらなる充実を図るべきではないか。</p> <p>③人材育成の推進に伴う活動や、ふるさとにゆかりのある人の、受け皿の整備充実を図るべきではないか。制を整備すべきではないか。</p>	町 長 教育長

平成30年11月21日

琴浦町議会議長 小 椋 正 和 様

琴浦町議会議員 手 嶋 正 巳

## 一 般 質 問 通 告 に つ い て

次の事項について質問します。

質問項目	質問内容（要旨）	答弁者
1. ジビエの有効活用について	現在の町内でのジビエ活用は、中途半端だと感じている。捕獲から解体、流通、消費と川上から川下まで関係する機関、団体などが一体となってジビエの活用を推進する必要があると考えます。仮称「ジビエ推進協議会」を立ち上げる考えはないか伺う。	町 長
2. コミュニティスクールについて	2017年3月に成立した改正地方教育行政法で、教育委員会に対し学校運営協議会の設置が努力義務化されたとあります。 コミュニティスクールは2004年に制度化、地域住民らが参画する学校運営協議会では、学校運営の基本方針を承認し学校運営に関する意見を市区町村の教育委員会、または校長に述べることができ、教職員の人事に関しても、教育委員会に意見を述べる事が出来る、こういう取組みを導入されないか伺う。	町 長 教育長

平成30年11月21日

琴浦町議会議長 小 椋 正 和 様

琴浦町議会議員 青 亀 壽 宏

## 一 般 質 問 通 告 に つ い て

次の事項について質問します。

質問項目	質問内容（要旨）	答弁者
1. 「同和対策に係る固定資産税の減免措置要綱」の廃止について	①「同和対策に係る固定資産税の減免措置要綱」は税の公平な課税に反するものになっており廃止し、固定資産税の課税の公平性を確保すべきではないか。 ②「同和対策に係る固定資産税の減免措置要綱」は、地方税法第367条の規定に反し、条例に基づかない減免となっており、廃止すべきではないか。 ③地域改善協議会の「意見具申」（1996年5月17日）では「住宅、道路等の物的な生活環境については、改善が進み、全体的には同和地区と周辺地区の格差は見られない」【2）現状と課題（1）現状】と述べており、特別対策を続ける根拠がなくなっている。	町 長
2. 認知症予防と生活の質の向上を目的に補聴器購入に対する支援制度を創設してはどうか	①最近の信頼できる調査による日本の「難聴者率」は14.4%（推定1430万人）で、欧米諸国と大差が無い、しかし、補聴器保有率はドイツ・フランスで日本の2倍、イギリスは3倍となっており、原因に公的支援の差がある、欧州では公的資格を持った専門家がサポートするが日本には無い。 ②日本の公的補助対象は、70デシベル以上なのに対してWHO（世界保健機構）が推奨する補聴器装用聴力レベルは41デシベル以上で、イギリス、ノルウェー、デンマークなどでは個人負担がほとんど無い。	町 長

質問項目	質問内容（要旨）	答弁者
	<p>③難聴を放置すると認知症の発祥につながるという研究も相次いで出されている。生活の質の維持・向上に加え、町是（町の施策の方向性を決定付ける町民の支持を得た方針）である、認知症予防も期待して補聴器装用に半額補助をしてはどうか。</p> <p>④半額補助は、両耳装用の薦めにある。それにより左右両脳への音声信号の伝達刺激による認知症予防効果を目指すためでもある。</p>	町 長
3. 国民健康保険税の今日的条件を活かした改革・改善について	<p>①今年度からの国保の都道府県化に伴い、全国知事会は国保を協会けんぽ(全国健康保険協会)並みにするには1兆円の財政支援が必要であるとして国に強く迫っています。</p> <p>②都道府県化に伴い「激減緩和措置」が取られ、琴浦町は県に納める「納付金」が減額される条件となっており、税の滞納のトップである国保税の改革・改善のチャンスとなっている。</p> <p>③「資産割り」及び人頭税のような「均等割り」「平等割り」の廃止や多子世帯に重くなる矛盾の解消など改革・改善を図るべきではないか。</p>	町 長

平成30年11月21日

琴浦町議会議長 小 椋 正 和 様

琴浦町議会議員 前 田 敬 孝

## 一 般 質 問 通 告 に つ い て

次の事項について質問します。

質問項目	質問内容（要旨）	答弁者
1. 琴浦町における糖尿病の現状と対策について	<p>①糖尿病予備群を含めた、町内の糖尿病患者、また重症化により人工透析を受けていらっしゃる方のそれぞれの数について、10年来の推移（琴浦町のみ）と最新の都道府県別、鳥取県内の市町村別の統計を把握しておきたいと思う。また、細かい数字は求めないが、就任以来約10ヶ月、小松町長が糖尿病に関し、琴浦町の実態をどれくらい把握されていて、それに対し担当課になにか指示をされたかどうか伺いたい。さらに今後の課題についても伺いたい。</p> <p>②糖尿病対策の施策や啓発運動について。 過去に実施された糖尿病対策の効果は数字に反映されているか。好転が見られない場合、何が原因か。琴浦町の糖尿病対策は他の市町村と比較して、なにか特別な施策が行なわれて来たかどうか。今後5年間は、今年3月に出された第三期琴浦町国民健康保険事業実施計画に沿ってデータヘルス計画が進められるのだが、25年度から29年度第二期の計画実施後の調査結果がどのように第三期の事業実施計画に反映されたか。</p>	町 長

質問項目	質問内容（要旨）	答弁者
	<p>③糖尿病と認知症は密接な関係があり、併発すれば多剤処方の問題もある。</p> <p>高齢者向けの認知症対策と糖尿病対策をより効果的に行うことはできないか？</p> <p>軽度認知障害や認知症の方に対しての啓発はどうなっているか。</p>	町 長

平成30年11月21日

琴浦町議会議長 小 椋 正 和 様

琴浦町議会議員 押 本 昌 幸

## 一 般 質 問 通 告 に つ い て

次の事項について質問します。

質問項目	質問内容（要旨）	答弁者
1. 赤碕港の成り立ちから、現状及び今後について	①漁港（旧亀崎港）築造者岡田茂三郎等の顕彰は ②赤碕港の伝統的な魚種等は ③琴浦町の水産業の現状をどう考えるか ④「水産改革」法案（漁業法等改正案）についての対応指導は	町 長
2. 臨時職員等賃金の妥当性	9月20日第6回琴浦町議会定例会で可決された「臨時的任用職員」（月額171,300円）との比較で、他の臨時職・特別職の報酬額は如何か	町 長
3. 町長の議会に対する政治姿勢	町長就任以降、これまでの議会に対する対応について、特に「議会基本条例第12条（重要な施策等の説明資料）」等を踏まえての所感を訊ねる	町 長

平成30年11月21日

琴浦町議会議長 小 椋 正 和 様

琴浦町議会議員 角 勝 計 介

## 一 般 質 問 通 告 に つ い て

次の事項について質問します。

質問項目	質問内容（要旨）	答弁者
1. 防災対策について	台風24号の災害検証はどうなっているか ①避難指示が出たわりには避難所に行く人が少なかった点等の問題点について、再発防止のための検証はどうなっているか。 ②避難所近辺の状況を把握するための手段として、防災カメラの設置をしてはどうか。	町 長
2. 学校のエアコンについて	使用方法についての町としてのマニュアル、要綱の作成はするのか。	教育長

平成30年11月21日

琴浦町議会議長 小 椋 正 和 様

琴浦町議会議員 福 本 ま り 子

## 一 般 質 問 通 告 に つ い て

次の事項について質問します。

質問項目	質問内容（要旨）	答弁者
1. いじめ問題等とその対応について	①小学校、中学校でのいじめの件数とその内容 過去3年間の件数の内、同一の児童生徒は？ 現時点での不登校の児童生徒数は？ その内、いじめが原因と思われる件数は？ ②いじめの認知調査方法はどのようなやり方か？ ③調査委員会はどのようなタイミングで立ち上げるのか。この度の事案が遅れた理由は？ ④調査に3ヶ月も要した理由は？ ⑤調査委員会は公平性、専門性があるか。 ⑥報告書をどう活かすのか？ ⑦調査中、その後の学校内の指導対応は？ ⑧悩みを抱え、また不登校となっている児童生徒へどのような対応を行っているか ⑨いじめが起こる要因はどのようなところにあると思われるか。	教育長
2. マイナンバー制度活用について	①個人番号が住民にきちんと配布されているか。 ②カード化の普及状況はどうか。 ③カードの写真は更新等があるのか。 ④個人番号の提示を求められる機関等具体的に。 ⑤番号カードを活用する案はないか。	町 長

質問項目	質問内容（要旨）	答弁者
<p>3. 次年度以降の中長期的な予算編成の方針について</p>	<p>2019年度予算編成の基礎として何を重点に考え対応するのか。起債が増大する中で次のような項目が大きいかかわってくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児教育・保育の無償化導入にむけて</li> <li>・ 消費増税対策にむけて</li> <li>・ 臨時職員待遇改善に伴う予算措置</li> <li>・ 廃止事業等の方針</li> </ul> <p>これらを含み、その対応はどう考えているか、またそのことに起因してのスクラップ&amp;ビルドの考えは？</p>	<p>町 長</p>

平成30年11月21日

琴浦町議会議長 小 椋 正 和 様

琴浦町議会議員 大 平 高 志

## 一 般 質 問 通 告 に つ い て

次の事項について質問します。

質問項目	質問内容（要旨）	答弁者
1. 水防法改正への対応状況について	①洪水予報河川や水位周知河川に未指定の中小河川についても、過去の浸水実績等を市町村長が把握したときは、水害リスク情報として住民へ周知する制度が創設されたが対応状況を伺う。 ②要配慮者利用施設について、避難確保計画作成及び避難訓練の実施が義務化されたが対応状況を伺う。	町 長
2. 廃校舎の利活用について	利活用が進まない2つの廃校舎について、どのような活用を図っていく考えか伺う。	町 長
3. 地域おこし協力隊の今後について	活動の周知は出来ているか、また退任後のサポート体制は構築されているのか伺う。	町 長
4. 差別事象への対応について	「差別事象対応マニュアル」に従った運用が求められているが、その運用状況を問う。	町 長 教育長

平成30年11月21日

琴浦町議会議長 小 椋 正 和 様

琴浦町議会議員 桑 本 始

## 一 般 質 問 通 告 に つ い て

次の事項について質問します。

質問項目	質問内容（要旨）	答弁者
1. 生活扶助基準見直しによる自治体の課題について	<p>①生活保護見直し</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・所得下位10%層（第1・十分位層）を比較・均衡の対象としている。</li><li>・所得下位10%層（第1・十分位層）との均衡では基準が再現なく下がるなど極めて不合理。</li><li>・所得下位10%層（第1・十分位層）との均衡では本来あるべき絶対水準を割るおそれあり。</li><li>・子供の貧困対策（貧困の連鎖解消）に逆行。</li><li>・生活保護世帯の子供も大学等に進学できる社会に。</li></ul> <p>②福祉事務所対応の問題点について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・3種類10項目の扶助費の対応。</li><li>・CW(ケースワーカー)1人当たりの担当数、社会福祉士、精神保健福祉士取得率は</li></ul>	町 長